

地区中学校英語弁論大会及び支部中体連駅伝大会激励会 校長あいさつ

平成29年8月25日（金）

はじめに、8月29日火曜日は、田村地区中学校英語弁論大会です。特設英語弁論部の皆さんも、他の諸活動との両立を図りながら、星先生、須田先生、ギャレット先生のご指導の下、限られた時間を有効に使って、これまで一生懸命練習に励んできました。また、家庭でも英語弁論の練習に励んだことでしょう。英語が好きで、英語弁論に自らの意志でチャレンジしたことによって得られるものは、他の場面でも必ず生きてきますので、最後の最後まで時間を惜しんで努力を重ね、やればできるという自信につなげてください。

福島県も日本も、英語を使える人材をさらに必要としています。英語を使える人は、職業や仕事の選択の幅が広がる時代です。また、英語を使える人がもっと多くなれば、福島そして日本の魅力を外国の人たちに発信する機会が増えて、震災からの復興・創生につながり、グローバル世界の中において、日本の存在感を増すことができるでしょう。田村市でも、ブリティッシュヒルズでの英語研修、アメリカ・マンスフィールドでの英語研修を行っていますので、都路中生のチャレンジを待っています。また、本校では、10月19日（木）にヤングアメリカンズを実施します。外国の若者約40名が来校し、歌やダンスのワークショップを通じて、都路小5・6年生、都路中の全校生、都路小・中の先生方、地域の方々と一つのショーを創り上げますので、ヤングアメリカンズとも英語で積極的にコミュニケーションを図ってください。英語弁論大会に出場する2名の皆さんの健闘を祈ります。

次に、9月1日金曜日は、田村支部中体連駅伝大会です。特設駅伝部の皆さんも、他の諸活動との両立を図りながら、吉田先生、菅野先生、猪俣先生、佐藤先生のご指導の下、雨にも暑さにも負けず、短時間ながらハードな練習を重ねてきました。言うまでもなく駅伝は、長距離走かつ団体競技です。自分が襷をつなぐことができなければチームは失格となるため、一人一人に大きな重圧のかかる競技です。そのような競技に自らの意志で、敢えてチャレンジした駅伝部の皆さんの勇気と、今日までハードな練習をやり抜いたことに敬意を表します。都路中生には繰り返し言っていますが、獲物である兎を二兎も三兎も追うといったチャレンジする気持ちは、中学生のうちに身に付けておくことが大切です。高校生になってからでは遅いのです。

当日の大会は、他校の選手も必死ですので厳しい展開が予想されますが、昨年度より一つでも二つでも順位を上げて、全校生の「やればできる」という自信につなげてください。特設駅伝部の皆さんの健闘を祈ります。